

第1号議案 令和4年度事業報告について

1 オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1）

（ ）＝県外公演数（内数）

区 分		4年度実績	摘 要
1 オーケストラ運営事業			
自主公演	定期公演	18（3）公演	県内、東京、大阪、名古屋 県内、富山、新潟、長野 等
	特別公演	28（18）公演	
	音楽堂特別公演	5（0）公演	
	ファミリー公演・入門コンサート	1（0）公演	
	新人登竜門コンサート	1（0）公演	
	小 計	53（21）公演	
依頼公演	小・中学校公演	13（4）公演	高岡、三島 県内、福井、岐阜、長野 等
	市町・企業等依頼公演	32（16）公演	
	CD等録音・収録依頼	0（0）公演	
	小 計	45（20）公演	
海外公演		0（0）公演	
		合 計	98（41）公演
小編成による室内楽公演		108（21）公演	
2 ジュニア・アマチュアオーケストラの育成振興事業	○ジュニア・オーケストラ開催 ・5月4日（祝）楽都音楽祭 ・10月30日（日）楽都音楽祭秋の陣 ・3月26日（日）第29回定期演奏会で発表		
3 その他、音楽文化を通じて地域振興に寄与する事業	○楽器技術講習会の開催 ・5月2日（月）県立音楽堂 ・12月4日（日） 〃		
・合唱団の育成	○オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団の育成 ・オペラ「滝の白糸」公演に出演 ・3月16日（木）カルチャーナビ講座参加		
・ボランティア公演の実施	○ボランティア公演 → 医療、福祉施設での公演のため中止		

令和4年度 オーケストラ・アンサンブル金沢の特徴的な事業

- (1) 北陸新人登竜門コンサート 管・弦・打楽器部門
5月15日(日) 石川県立音楽堂コンサートホール
- (2) いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2022への出演
4月28日(木)～5月5日(木祝)開催 石川県立音楽堂コンサートホール他
オーケストラ公演：7公演(オープニングコンサート1公演を含む。)
- (3) 広上淳一アーティストティック・リーダー就任記念公演
・第458回定期公演
9月18日(日) 石川県立音楽堂コンサートホール
共演：神尾真由子(Vn)
- (※就任記念プレ公演)
・岩城宏之メモリアルコンサート
9月10日(土) 石川県立音楽堂コンサートホール
共演：岩城宏之音楽賞受賞者
- (4) 世界的アーティストとOEKとの共演
5月21日(土) 指揮・Pf：アンジェラ・ヒューイット(カナダ)
10月1日(土) Fl：エマニュエル・パユ(スイス)
3月11日(土) 指揮・Cl：イェルク・ヴィトマン(ドイツ)

2 音楽堂自主事業会計(公益目的事業会計2)

石川県立音楽堂自主事業を3ホール合わせて17事業を実施

洋楽の部	邦楽の部	交流ホールの部
パイプオルガンシリーズ公演(年間2回) 和洋の響(2月) ランチタイムコンサート(年間6回) アフターセブンコンサート(年間2回) 他3事業実施	MANSAI CREATION BOX ～萬斎のおもちゃ箱～(10月) みらいの音楽祭(MANSAI for kids) (11月) 新春芸能玉手箱 (1月) 芸の鼓動 (3月) 他3事業実施	音楽堂フェスタ 〔親子で楽しめる伝統芸能 等の体験イベント(8月)〕 みらいの音楽会 (クラシック for キッズ) 〔未就学児対象の公演(7月)〕 カルチャーナビ 〔クラシック音楽講座や 芸能講座 年間7回〕
計 7事業	計 7事業	計 3事業

3 音楽堂管理会計(公益目的事業会計3 及び 収益事業会計)

石川県立音楽堂の管理運営(県から指定管理者に指定：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

年間ホール利用	コンサートホール	233日	
(本番・練習)	邦楽ホール	166日	総入場者数157,274人
	交流ホール	243日	

4 当期収支について

【オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1＋法人会計）】

文化庁の新型コロナウイルスに関連する臨時的補助金等の積極的な獲得による財源確保や、依頼公演の増加に伴う公演料収入の増加により、当期収支は大幅な黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：90,542,221円

【自主事業会計（公益目的事業会計2）】

国民文化祭の関連イベント及び（一社）日本クラシック音楽事業協会のクラシックキャラバン事業による公演共催負担金の増加や、金沢市内小学校の校歌制作の受託などにより、当期収支は黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：11,725,484円

【管理会計（公益目的事業会計3＋収益事業等会計）】

学会等の貸館利用の回復により、昨年度よりも、ホール等の使用料収入や駐車場収入が増加したものの、光熱水費の大幅な増加により、当期収支は赤字決算となった。

当期一般正味財産増減額：△18,541,699円

【全体の収支】

オーケストラ運営事業会計で計上した大幅な黒字額が、管理会計の赤字を大きく上回っており、自主事業会計を含めた事業団全体の当期収支は黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：83,726,006円

5 累積剰余金の削減について

文化庁の新型コロナウイルスに関する臨時的補助金の収入増加などにより、令和元年度から令和4年度にかけて、公益目的事業会計（オーケストラ運営事業会計及び自主事業会計）において累積剰余金が発生しており、公益認定基準から累積剰余金の削減に努める必要がある。なお、当該累積剰余金の削減については、管理会計における累積赤字が増加していることを考慮しながら、現在検討を進めているところである。